



「ほっとルーム」だより

第206号 令和7年10月1日発行
いちき串木野市家庭教育支援連絡協議会
(子どもみらい課内 TEL 33-5618)

豊かな心を育てよう

「自分の大切さ」も「他人の大切さ」も感じられることもに

「自分の大切さ」も「他の人の大切さ」も感じることができるともたちになってほしいですね。そのためには、子どもも大人も、正しい知識（知的理解）と人権感覚をバランスよく身に付けることが大切です。

ぼくの好きなことは〇〇だよ。

みんなちがって、みんないい！

〇〇さんが、助けてくれたよ。

わたし、〇〇が得意なの！

〇〇さん、すごいね！

「ごめんね」がちゃんと言えたよ。

ぼくの好きなことは〇〇だよ。

つらい気持ちを聞いてもらってうれしかったよ。

「ありがとう」って言ったらいい気持ち。



みんなが仲良く協力しながら過ごしている家庭だと「楽しいな。もっとこの場所にいたいな。」と心地よくなりますね。でも人の悪口が聞こえたり、仲間外しをしたりしている家庭だと、「もうここにいたくないな」と悲しい気持ちになりますね。そんな直感的に感じる力が「人権感覚」です。



例えば、いじめ問題の解決について考えてみましょう。

【知的理解】

いじめはしてはいけない。
いじめは許されない行為だ。

関連

【人権感覚】

いじめを見ると、悲しい気持ちになる。
いじわるな言葉を聞くと、腹が立つ。
〇〇さんのつらい表情を見ると、自分も悲しくなる。

知的理解と人権感覚の両面が育つことで、自分も大切に、他の人も大切にすることができるともたちが育つのではないのでしょうか。



人を排除することのおかしさや、人と協働することの心地よさを味わうには学校だけでなく、家庭や地域での体験、様々な人とのかわりが重要です。家庭や地域も一緒になって、こどもの人権感覚を育てていきましょう。「感じ、考え、行動する」参加型学習でも人権感覚が高まります。

◇ 家庭教育学級で使える参加型学習

【リフレーミング】

短所を書き出して、見方を変えてみましょう。

目立ちたがり
あわてんぼう
おしゃべり
強引
飽きっぽい



明るい
行動的
社交的
頼れる
好奇心が旺盛

【Iメッセージ YOUメッセージ】

具体的な場面を想定して、伝え方をみんなで考えてみましょう。

〈YOUメッセージ〉

「遅れるなら(あなたが)連絡してよ。」

〈Iメッセージ〉

「連絡が無かったから(私は)心配したよ。」

令和6年度更新版「親子の笑顔を増やす かごしま家庭教育ナビ」より

～ほっとルーム～
(子どもみらい課内)

子育ての中で、気になること等ありましたら、一人で悩まず、いつでも気軽にご相談ください。一緒に語りましょう。

TEL : 33-5654

FAX : 32-3124



2回目の 長子家庭訪問が 終わりました

家庭訪問では、夏休み期間中や夏休み明けの親子で頑張っている様子、子どもさんの成長、そして、子どもさんが多くの方に見守られ、支えられて生活されている様子等を伺うことができました。夕方のお忙しい時間の訪問

にもかかわらず、快くお話ししてくださり、誠にありがとうございました。

また、一度もお会いできていないご家庭にはアンケートを投函させていただきました。早速、アンケート返信や訪問希望日をお知らせいただきました。皆さまのご協力に感謝申し上げます。

子育てアドバイス

子どもに寄り添うということは…



子どもを見るということは
見守ることです。
表情と、その奥にある心を見るのです。
その子にしかない輝きを
毎日見ている親が見つけるのです。

赤ちゃんは成長の過程で、親のそばを離れて探索しながら、不安を感じると振り返って親(周囲の大人や他者)の表情を確認します。

そこで安心や制止を感じ取り、行動を決めていきます。



これは「ソーシャル・リファレンシング(社会的参照)」と呼ばれ、子どもが社会のルールを他者から学ぶ大切な力です。



だからこそ、「見守る」親のまなざしが大切なのです。
子どもの表情やしぐさから、

その子らしい良さや好きなことを見つけてあげましょう。



参考文献 佐々木 正美 著 「花咲く日を楽しみに」

県の相談機関

かごしま教育ホットライン24

☎0120-783-574

24時間子どもSOSダイヤル

☎099-294-2200 ※携帯電話からはこちら

PTAすくすくライン(家庭教育やしつけについて)

☎0120-0-78310

☎099-251-0309